

女性配慮の医療機関増

快適な診療室、専用時間帯も設定



専用ルームで治療にあたる曾山敬子さん。植物や部屋の色使いが優しいムードを醸し出す（鹿児島市東千石町の曾山歯科医院で）

女性専用の診療室や時間帯を設ける医療機関が増えていく。県はホームページで、専用外来や女性医師を配した医療機関の一覧を掲載。県医師会（米盛学会長）も、女性医師や女性を対象にしたシンポジウムを企画するなど、後押しを始めた。

鹿児島市東千石町の曾山歯科医院。真っ白の壁に一台きりの治療台は淡いピンク色、間接照明もいかされた部屋は、女性を中心とした矯正治療の診療室だ。約1年前、通常の診療室とは別に開設した。

矯正治療に訪れる患者の

9割以上が女性。それも20〜30歳代が多い。以前から、女性患者のなかには、治療中の姿を他の人に見られたくないという意見も多く、診療室をデザインした歯科医、曾山敬子さん（30）は清潔、安心、快適で、治療室らしくない空間をと心掛けた。

ました」と話す。女性らしい心遣いの治療方針も好評だ。5月に結婚を控えている同市東郡元町の元教諭の女性（31）は、昨春から矯正を始めたが、曾山さんに頼み、式の前後は、歯から矯正器を外すことにした。「女性同士で何でも相談できるのもいい」

県健康増進課は昨年末、県医師会、県歯科医師会の協力を得て、女性に配慮した医療機関を調査、一覧に

医師会も研修実施、後押し

して発表した。病院や診療所のなかで、婦人科や心療内科、乳腺外来など特別外来を設置しているのは3か所、女性医師が対応したり、配慮した診療日時を設定したりしているのは12か所。歯科診療所では、特別外来が1か所、女性医師が対応しているのが12か所などの結果が出た。ただ、依然、少ないのが現状だ。

県や医師会などでは、昨年末から医師や医療従事者を対象にした研修やシンポジウムを2度、開催。県の新年度予算でも、乳がん予防の啓発や一般を対象にしたシンポジウムなどで630万円を計上した。

県の担当者は「妊娠、出産や更年期障害など、人生の間で体が変化しやすいうえ、家族の健康も支えている女性の健康管理にもっと支援していきたい」と話す。また、女性医師を全医療機関に配置するのは現実的に難しいことを踏まえ、県医師会は研修などを通して、「女性が受診、相談しやすい医療環境の整備に協力していきたい」としている。